

## ジュニア総会議事録

日時：2011年5月4日 18:00～19:10

場所：インテックス大阪 2号館

出席：高橋、野村、北原、金田、畑（北海道）、小田（東北）、柳（北信越）、新井（関東）、高（静岡）、山田（東海）、吉本（京滋奈）、西田（関西）、玉島（兵庫）、樋口（四国）、水川（岡山）、山野（広島）、中村（九州）、沖縄（今井）、佐々木（島根）、長田（ダンス技術委員長）、宮崎（レスキュー技術委員長）、他

議題：

### 1. ノード・ブロック大会の状況

・東日本大震災のために、東北ブロック（仙台ノード）、那須・郡山ブロックは開催不可能。北信越ブロック大会及び関東ブロック大会は期日を当初の期日を遅らせて実施した。  
・そのために、ジャパンオープンへのチーム選抜、エントリー及び準備がかなり遅れ、参加者への情報発信も遅れたことをお詫びする。

### 2. JST 補助金について

・平成 23 年度は 1200 万円の予定。5 年目の最後の年。評価としては 30 点満点中 29 点と高評価であり、他の国際科学技術コンテストと比較しても最高の評価であった。平成 24 年度以降も申請を続けたい。

### 3. 次年度のジャパンオープンの開催について

・3月29日(木)～31日(土)に兵庫県尼崎市で尼崎市商工会議所のご支援のもとに実施する。JST の補助金は使用できない。スポンサーの支援も必要。春の甲子園の時期であり、ホテルの確保も考慮しなければならない。年度末なので、スタッフの確保も必要。

### 4. 次年度以降の運営体制について

・各技術委員会の充実：委員長、副委員長の体制でうまく機能しはじめた。副委員長を増やすことで、仕事の分散を図りたい。また、北原さん、吉本さん主導で立ち上げてもらった各技術委員会のブログを管理してほしい。責任ある人が情報発信をすぐにできる体制と管理をお願いしたい。ホームページもグーグルを使用することで、定期的な更新を図っていききたい。

・ジュニア単独の事務局を設置するためには人件費が必要。現在は日本委員会の事務局をインターにおかせてもらっているが、2012年3月に終了する。その後は未定。

### 5. ジュニアの大会を継続していくために

・会費制など、ジュニアの活動を維持していくためにはベースとなる資金も必要。スポンサー集めのためには運営体制がしっかりしていることと、ちらしやパンフレットなどの広報媒体を作成する必要がある。

### 6. 運営委員について

・ジュニア理事である高橋は昨日の理事会でジュニア理事を退任された。代わって金田がジュニア理事として就任した。同時に National Rep.も退任されることになり、イスタンブール大会には野村が National Rep.として出席してもらうことに決定した。

・国際 OC（運営委員）は開催会場に行く必要があるが、国際 TC（技術委員）はルールの検討・決定をすることがメインであり、開催会場に行く必要はないので、積極的に立候補してほしい。

・運営委員である野村、北原、金田は任期満了。本来なら選挙をするはずであったが、震災の影響で遅れている。5月中を目処にブロック長に信任作業をおこなってもらう予定。

==

以下、野村先生のメモ

## 議題

### 1. ノードブロック大会報告

・震災の影響…東北ブロック、那須郡山ブロックは開催できなかった  
東海ブロック、静岡ブロック等ぎりぎりで開催されたブロックがあった  
エントリーをぎりぎりまで待つこととした

・ノード/ブロックのチーム、参加者数の確認が遅れています

### 2. JST 補助金

・5年間 H23 年度最後の年

・今年度 1200万円 ジャパンオープン 814.1万円

(H24 年度に向けてブロックノード支援, 事前講習会など)

世界大会派遣 331.2万円

一般管理費 54.7万円

・JST からは高評価 → 今後も JST へもアプローチしていく

(来年度に向けた活動)

・来年度の日本大会・・・尼崎で開催が決定 2012年3月※1

(尼崎市商工会議所の支援)

ジュニアのみでの開催

⇒ジュニアに特化した企画を盛り込む事が可能

(例 Over19 リーグなど)

・今後のジュニアジャパンの活動を一層活性化し、ジュニアジャパンの目的を達成させて

行きたい

※1 開催時期については、世界大会のエントリー締め切りに合わせて早める方向性で検討して来た。

最終的に日本委員会でも了解を得て3月までの単独開催を行うこととした。

以下詳細。

名称：ロボカップジュニア日本大会 2012 尼崎大会（案）

日時：3月29日（木）、30日（金）、31日（土）

（会場 5:00～21:00 まで開場可能）

※春の甲子園の時期で宿を取るのが大変かもしれない

場所：ベーコム総合体育館

参加費について：参加者だけでなく関係者からもいただくことになる ※2

※2 費用を捻出する必要+スポンサーを集める必要がある

+広報を充実する

- ・大会の見せ方が必要
- ・テレビなどメディアの活用

+会費徴収ならびに会員サービスへの課金（例えば参加証明書の発行など）

+グッズの作成と販売など・・・よいアイデアがあればウェルカムです

⇒会計担当（専属事務）・・・人権費が必要 1人あたり年間700万円程度は必要

事務局の必要性

（今後のスケジュール）

- ・運営に向けて7月末の合宿 or 9月に、2012 実行委員会
- ・3月上旬までにブロック大会
- ・それまでにノード大会（10月から開始される）

3. 次年度以降の体制について

・技術委員会 委員長+副委員長制（確認）

（サッカーは副委員長が3名など、柔軟な形態で、自主的に技術委員会を運営して行く）

・実行委員会 各ブロック長+技術委員長の構成としたい（提案 実行委員会で議決）

・日本委員会理事会 ジュニア担当理事 高橋先生→金田先生（報告）

・国内担当運営委員 実行委員長 金田先生 副委員長をつけたい（提案 実行委員会で議決）

・ National Rep. 高橋先生 → 野村 (提案→決定)

・ 国際委員会 技術委員会 サッカー野村 レスキュー水野 ダンス丹羽  
⇒ 今後、国際委員会へ日本から積極的に参加できるように努力していきたい

(運営委員の選出について)

・ 運営委員の任期がこの総会で切れる  
・ 本来であれば次の運営委員の決定をする必要があった  
→ これから1ヶ月程度で実行委員の間で決定する (提案)

ジュニアジャパンの目的

1. 日本大会の運営
2. 日本における普及活動
3. 世界大会の推薦

(～～～→ ・ ロボット教育を通じた人材育成)

科学技術教育+情操教育, 英語教育など広がり期待できます※3

※3 大津ノード, 京滋奈ブロックではすでに英語でのポスター, インタビューを実施

国際レベルでの大会運営等の動向+日本の活動との接合について

- ・ 世界大会における日本からのスタッフの方の活躍も目立って来ている
- ・ 世界大会も日本大会同様に子どもたちだけでなく指導者にとっての学びの場, 参加の場

技術委員会の blog 運営

- ・ 発信する情報に責任ある立場の人が直接投稿をする方式 (提案)  
技術委員会については技術委員長が行う

ホームページについて

- ・ 更新者が滞っている → 少人数ではなく複数名の体制で行う
- ・ Google サイトを使って再構築 → 複数人で管理 (提案)
- ・ 各ブロックのページについても統合していきたい (提案)

紹介

- ・ シミュレーションリーグの LiveCD